



© Mino Inoue

高齢者向け音楽ワークショップの検証 公開報告会

日時 2020年(令和2年) 3月10日 (火)

16:30~18:00 [16:15受付]

会場 東京文化会館 大会議室[4階]

定員 50名 (事前申込制、先着順)

対象 アート・音楽関係者、アーティスト、自治体・文化行政関係者、教育・社会福祉関係者、学生、研究者など

東京文化会館では、年齢や障害、社会的ハンディキャップのあるなしにかかわらず、あらゆる人々に音楽鑑賞や音楽創造体験の機会を提供するとともに、多くの人々が新たな文化創造に主体的に関わる環境を整えることを目的とした様々な社会包摂的活動に取り組んでいます。近年では、「創造性」「協調性」「参加性」を重視する音楽ワークショップを都内の高齢者施設や社会福祉施設等において実施してまいりました。

高齢者向け音楽ワークショップのニーズ増加に伴い、より充実したプログラムの実施を目指し、今年度はプログラムづくりに関わる具体的な手法やプログラムの独自性の検討に取り組みました。

[内容]

- 事業目的および概要報告
- 音楽ワークショップ「Shall we シング？」の説明
- 日下菜穂子氏による基調講話
- アクティブ・シニア向け音楽ワークショップの検証と考察

2019年11月にアクティブ・シニア世代を対象に東京文化会館ミュージック・ワークショップ「Shall we シング？」を2回実施しました。高齢者心理学等を専門とする研究者、日下菜穂子氏（同志社女子大学教授）と連携し、その活動内容を

- ①音楽と共に動くワークショップの効果の測定
- ②アクティブ・シニアを対象としたプログラムづくり
(例：文化活動に関わる習慣がない方が参加したくなる仕組みづくり)
- ③高齢者が主体となる音楽ワークショップの社会的意義に関わる視点から実践内容の考察および検討を行います。

[登壇者]

日下菜穂子 (高齢者心理学/同志社女子大学現代社会学部 教授)

阿部廣二 (認知科学/早稲田大学大学院人間科学研究科 助手)

[お申込み/お問合せ]

聴講をご希望の方は、お名前、ご所属、連絡先、人数を明記のうえ、メールにてお申込みください。(定員50名、先着順)

東京文化会館 事業係 3/10 公開報告会担当

Email onstage@t-bunka.jp Tel 03-3828-2111 Twitter @tbunka_official ウェブサイト t-bunka.jp

※記録のための撮影を行います。撮影した写真・動画は東京文化会館の報告書や広報物、SNS等で使用されます。予めご了承ください。

※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

主催：東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館・アーツカウンシル東京

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

文化庁 独立行政法人日本芸術文化振興会

一般財団法人地域創造

協力：同志社女子大学、株式会社白寿生科学研究所